

⑩Int.Cl.  
B 60 f 21 / 12

⑨日本分類  
80 K 0

⑩日本国特許庁

⑪実用新案出願公告  
昭49-15082

## 実用新案公報

⑫公告 昭和49年(1974)4月15日

(全2頁)

1

### ⑩ガス発生剤収納ケース

⑪実願 昭45-125160  
⑫出願 昭45(1970)12月14日  
⑬考案者 岡昂  
同 東京都杉並区西荻南1の4の13  
有馬龍弘  
横浜市神奈川区西寺尾町714日  
産自動車西寺尾寮  
⑭出願人 日産自動車株式会社  
横浜市神奈川区宝町2  
⑮代理人 弁理士 清瀬三郎 外1名

#### 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す側面図、第2図  
は第1図におけるガス発生剤収納部の1例を示す  
一部平面図である。

#### 考案の詳細な説明

本考案は自動車の衝突時人命保護のために用い  
られるエアバッグ内に装備するガス発生剤の装備  
様式構成に関するものである。

この種ガス発生剤としてガス発生量、発生速度  
の異なる数種のものを併用してガス発生状況を適  
切とする事は行なわれているが、これ等を混合す  
ることがきず各別区分装備される事が必要であ  
り、従来は各別ケース等に入れて基盤に取付けて  
いたが、装備操作が厄介であると共に誤装備の可  
能性もあり、本考案はこれを1枚のプラスチック

2

フィルムを用いて区分密封装備し簡便に機能よく  
実施せんとするものである。

図実施例につき説明すると、1は基盤、2はエア  
バッグ、3はプラスチックフィルム又はそれに類  
する薄い板又は膜、4は樹脂製又はそれに準ずる  
薄い基盤、5、5'、5"は異種ガス発生剤、6  
は接着又は高周波溶着部、7はスクイプ装備部を  
示し、薄い基盤4上にプラスチックフィルム3を  
図の如く異種ガス発生剤を区分配分して接着する  
事により容易に異種組合せガス発生剤のセットケ  
ースが出来、これを基盤1に装備する事により容  
易にエアバッグ装備が得られる。高周波接着の場  
合も火薬の引火点以下で簡単に実施されうるから  
危険性は殆んどない。エアバッグは薄い基盤4に  
直接取付けてもよい。

尚基板にスクイプ着火用としてプリント配線を  
施しておけば一層便利である。

本考案によれば異種ガス発生剤は外部からもま  
た相互間に於いても完全に区分密封されているた  
め耐久性の向上が得られ、又作業性の向上が計ら  
れる効果あるものである。

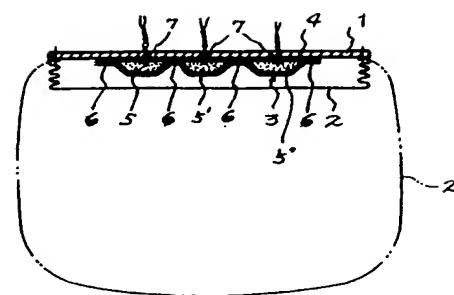
#### ⑯実用新案登録請求の範囲

スクイプの装着可能な樹脂製又はそれに準ずる  
薄い基盤上にプラスチックフィルム又はそれに類  
する薄い膜あるいは板を区画室を構成する様に接  
着又は溶着して該区画室内に異種ガス発生剤を收  
内装備させてなるガス発生剤収納ケース。

(2)

実公 昭49-15082

方1図



方2図

